

2023年4月18日

一般社団法人 石川県社会福祉士会 生涯研修センター  
 一般社団法人 福井県社会福祉士会 生涯研修センター  
 一般社団法人 富山県社会福祉士会 生涯研修センター

## 2024年度 基礎研修Ⅲのご案内（福井県受講者用）

このたびは、北陸三県共催の生涯研修基礎課程「基礎研修Ⅲ」にお申し込みいただき、ありがとうございます。

受講者は以下につきましてご確認いただき、ご参加ください。なお、プログラムは現在把握している部分を掲載しており、日時・期限等が変更となった場合にのみご案内いたしますので、この用紙は大切に保管してください。また、下記日程で受講できない場合は、所属県の社会福祉士会事務局あてに事前にご相談下さい。

### 1. 実施プログラム

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義・演習・グループ討議ともに、すべてインターネット利用での研修となります。

※eラーニングで「講座視聴前チェック」がある科目は、その科目の講義を視聴する前にチェックを受けないと、続く講座を視聴することが出来ません。「講座視聴前チェック」に関しては受講証明書の発行がありません。

※講義・演習・グループ討議の時間数については、シラバスに記載された時間数のため、eラーニング講座の講義のタイトルの総時間数とは一致しない場合があります。

※下記の表の課題やレポートの内容については、概要を記載しています。出題文等については、ワークブックにて確認してください。

科目等	日時・期限	テーマ・内容	備考
実践評価・実践 研究系科目Ⅰ	5月8日(水) 受講証明書の 発行締切	<b>《eラーニング》</b> [・講座1 講座視聴前チェック] ・講座2 対人援助と事例研究(講義80分) ・講座3 事例研究の基本枠組み(講義80分) ・講座4 事例研究の方法としてのケースカンファレンス(講義80分)	
	5月18日(土) 9:30~11:30 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修3 事例研究の方法としてのケースカンファレンス(演習90分)	運営担当 福井県
ソーシャルワーク理論 系科目Ⅰ [事前課題]	<b>提出期限</b> 6月12日(水) 所属県士会へ	基礎研修Ⅱ集合研修4で実施した、ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「実践事例演習」を改めて振り返り、「ソーシャルワークの展開過程」をふまえた上で、自らが現在実践している事例のうち1つを、書式に沿って、A4用紙1~2枚程度にまとめる。 [6/22研修当日は事前課題を手元に用意]	書式は5月10日頃UP予定
実践評価・実践 研究系科目Ⅰ	6月12日(水) 受講証明書の 発行締切	<b>《eラーニング》</b> ・講座5 事例研究のための事例のまとめ方(講義80分) ・講座6 修了テスト	
ソーシャルワーク理論 系科目Ⅰ	6月22日(土) 9:30~14:30 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修1 実践事例演習Ⅱ(演習210分) [事前課題を手元に用意]	運営担当 福井県

ソーシャルワーク理論 系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 7月10日(水) 所属県士会へ	実践事例演習Ⅱをうけて、所定の書式に沿ってまとめる。	書式は 6 月 21 日頃 UP 予定
実践評価・実践 研究系科目 I 【中間課題】	<b>提出期限</b> 7月10日(水) 所属県士会へ	実践評価・実践研究系科目 I e-ラーニング講座 5 「事例研究の ための事例のまとめ方」を受け、「フェイスシート」と「事例の経過 記録」をまとめる。 [7/20 研修当日は中間課題を手元に用意]	書式は 5 月 17 日頃 UP 予定
実践評価・実践 研究系科目 I	7月20日(土) 9:30～15:30 Zoom	《Zoom研修》 ・研修 5 模擬事例検討会(講義 60 分 演習 210 分) [中間課題を手元に用意]	運営担当 福井県
実践評価・実践 研究系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 8月14日(水) 所属県士会へ	模擬事例検討会にて発表した自身の実践事例をまとめたものを集 合研修で相互評価してもらった上で推敲する。	
権利擁護・法 学系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 8月8日(木) 所属県士会へ	事前学習資料を読み「意思決定の支援の必要性」についてのあなた の考えを、ホームレスを例に挙げ、1200 字程度にまとめる。その 際、「判断能力」「アセスメント」「エンパワメント」という言葉を必ず 用いる。 [8/18 研修当日は手元に用意]	書式は 7 月 5 日頃 UP 予定
権利擁護・法 学系科目 I	8月8日(木) <b>受講証明書の 発行締切</b>	《e-ラーニング》 ・講座 1 意思決定の支援(講義90分) ・講座 2 修了テスト	
	8月18日(日) 9:30～15:20 Zoom	《Zoom研修》 ・研修 1 意思決定の支援(演習 270 分) [事前課題を手元に用意]	運営担当 富山県
権利擁護・法 学系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 9月18日(水)	自分が対応する「意思決定の支援が必要な対象者」を想定し、 「意思決定の支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、想定さ れる支援プロセスを2000字程度でまとめる。	書式は 8 月 16 日頃 UP 予定
地域開発・政 策系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 9月4日(水) 所属県士会へ	所属組織が所在する自治体で策定している地域福祉計画等を読 み、あなたが支援している利用者を想定しながら、 (ア) 地域福祉計画等のどの部分が、利用者の生活にどのように関 係しているか (イ) 実際に支援する場合、利用者に対する支援にどのように活用 できるか (ウ) 利用者に対する支援と地域福祉計画等を結び付けて考える場 合に課題となりそうなことは何かについて、各項目を含め、 (1200～1500字) にまとめる。 [9/14研修当日は手元に用意]	所定の書 式は無い ため、A4 用紙で作 成してく ださい
地域開発・政 策系科目 I	9月4日(水) <b>受講証明書の 発行締切</b>	《e-ラーニング》 [・講座 1 講座視聴前チェック] ・講座 2 地域における福祉活動の実際(講義90分) ・講座 3 修了テスト	
	9月14日(土) 9:30～15:20 Zoom	《Zoom研修》 ・研修 1 地域における福祉活動の実際 地域における福祉活動 (演習 270 分) [事前課題を手元に用意]	運営担当 石川県
地域開発・政 策系科目 I 【中間課題】	<b>提出期限</b> 2月5日(水) 所属県士会へ	① あなたが現在、支援している利用者、あるいは過去に支援して いた利用者を想定しながら、ヒアリングシートを記入する。 ② ①で作成したヒアリングシートをもとに、企画シートを作成す る。その際、下段にある事後課題の欄は空欄のままにする。 [2/15研修当日は手元に用意]	書式は 9 月 13 日頃 UP 予定

サービス管理・経営系科目 I	10月2日(水) 受講証明書の 発行締切	<b>《e-ラーニング》</b> [・講座1 講座視聴前チェック] ・講座2 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営(講義90分) ・講座3 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント(講義90分) ・講座4 リスクマネジメントと苦情解決システム(講義90分) ・講座5 修了テスト	
	10月12日(土) 9:30~15:20 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修1 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営(グループ討議90分) ・研修2 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント(グループ討議90分) ・研修3 リスクマネジメントと苦情解決システム(グループ討議90分)	運営担当 石川県
サービス管理・経営系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 11月6日(水) 所属県士会へ	事前課題シート①~④を作成する。 ①サービス管理・経営系科目に用いられる用語の整理を行う。 ②所属組織における苦情、事故(インシデント)発生時の対応方法について調べる。 ③所属組織の苦情対応委員会について調べる。また、第三者委員の関わりを調べる。 ④委員会で決定した事項の周知方法(再発防止策)と、苦情・事故をサービス改善につなげる方法について、所属組織で工夫している点を調べる。 [11/16 研修当日は手元に用意]	書式は 9 月 13 日頃 UP 予定
サービス管理・経営系科目 I	11月16日(土) 9:30~15:50 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修4 事例研究[苦情、リスクマネジメント、サービス評価](演習300分) [事前課題を手元に用意]	運営担当 石川県
サービス管理・経営系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 12月11日(水) 所属県士会へ	①苦情が発生した後の対応について、対応の働きかけ先、役割分担、対応時期、方法を所定の様式にまとめる。 ②講義・演習を通して学んだことを参考にして、所属組織でサービス管理・サービス改善等を行う場合の課題について800~1200字でまとめる。	書式は 11 月 15 日頃 UP 予定
人材育成系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 12月5日(木) 所属県士会へ	①「スーパーバイザー」自己チェックシート ②「新人教育プログラム」自己チェックシート ③「研修プログラム」シート をそれぞれ記入する。 [12/15 研修当日は手元に用意]	書式は 11 月 8 日頃 UP 予定
人材育成系科目 I	12月5日(木) 受講証明書の 発行締切	<b>《e-ラーニング》</b> ・講座1 スーパービジョンのモデルセッション(講義120分) ・講座2 新人教育プログラム(講義60分) ・講座3 修了テスト	
	12月15日(日) 9:30~16:50 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修1 スーパービジョンのモデルセッション(演習120分) ・研修2 新人教育プログラム(演習240分) [事前課題を手元に用意]	運営担当 富山県
人材育成系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 1月15日(水)	新人教育プログラムにおける講義や演習を踏まえ、所定の書式に記入する。	書式は 12 月 13 日頃 UP 予定

地域開発・政策系科目 I	<b>2月15日(土)</b> 9:30～16:50 Zoom	<b>《Zoom研修》</b> ・研修2 地域の課題の解決に向けた具体策について（演習 360分） [中間課題を手元に用意]	運営担当 石川県
地域開発・政策系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> <b>2月26日(水)</b> 所属県士会へ	① 中間課題で作成した企画シートに対して、2月15日の演習で助言された「より良くするための工夫」を参考に、企画シートの修正を行い『完成版』を作成する。 ② 修正した『企画シート』をもとに、企画を具体化するための今後の方向性について500字程度でまとめる。 ③ 企画の具体化や、地域課題を解決するにあたり、あなたが所属する組織に求められている課題や今後の方向性について1200～1500字でまとめる。	①②の書式は中間課題を修正使用

## 2. テキスト・ワークブックについて

- (1) 各自、日本社会福祉士会の出版書籍等販売サイトから、『基礎研修Ⅲワークブック [2024年4月発行]』（税込660円）、および『基礎研修テキスト2021【上巻】』（税込2,277円）・『基礎研修テキスト2021【下巻】』（税込2,277円）を購入（送料別途必要）しておいてください。

既に基礎研修テキスト2021【上巻】・【下巻】を購入済みの方は、『基礎研修Ⅲワークブック [2024年4月発行]』を購入しておいてください。

2020年度以前に使用していた旧テキスト及び2021年度以前に使用していた旧基礎研修Ⅲワークブックについては、北陸三県の2024年度基礎研修では使用できません。

- (2) 日本社会福祉士会出版書籍等販売サイト

<https://jacsw-shop.com/>

## 3. 受講にあたって

### ○北陸三県共催について

- ①北陸三県の受講者が合同で受講します。講義科目ごとに運営担当県の社会福祉士会が異なります。
- ②受講者の連絡窓口は所属県の社会福祉士会事務局になります。受講証明書や課題の提出、問い合わせ等は所属県士会にお願いします。その後、運営担当県士会に伝達・確認するため、時間を要します。
- ③修了評価や出欠確認は講義科目の運営担当県で行い、所属県では結果を確認し受講者に必要な連絡をいたします。課題やレポート等の提出期限を厳守すること、集合研修Zoomでの遅刻・早退・離席・Zoom接続切断がないようにしてください。
- ④集合研修当日の緊急連絡先は運営担当県になります。緊急連絡先は集合研修のZoom招待メール送付の際にお知らせいたします。

### ○e-ラーニングについて

- (1) 日本社会福祉士会 e-ラーニング講座サイト

<https://jacsw.informationstar.jp/>

- ① 日本社会福祉士会 e-ラーニング講座のサイトは、会員の方、会員以外の社会福祉士の方で視聴できる講座や視聴料金が異なります。北陸三県の社会福祉士会会員の基礎研修講座の視聴については無料となっています。

- ② サイトの利用には、ユーザーIDおよびパスワードが必要になります。

ユーザーIDは会員番号、パスワードは日本社会福祉士会が設定したものです。詳しくは日本社会福祉士会e-ラーニング講座のサイト

<https://www.jacsw.or.jp/csw/eLearning/index.html>

に掲載の「e-ラーニング講座のご利用方法」のPDFファイルを確認してください。

## (2) e-ラーニング受講証明書

- ①講座のパート一覧すべての受講が完了すると、テストを受験できます。ただし、テストがない場合には、テストは表示されません。
- ②受講証明書が発行される講座を受講した場合、講座のパート一覧すべての受講が完了し、(テストがある場合は) テストに合格すると、「受講証明書発行」ボタンが表示されます。クリックすると、ポップアップで受講証明書が表示されます。ただし、受講証明書がない講座の場合には、表示されません。
- ③受講証明書は、e-ラーニング講座を受講した証明となりますので、忘れずに発行しておいてください。指定した締切日までに発行していない場合は、e-ラーニング講座とつながる集合研修Zoomに参加することができません。
- ④受講証明書は、提出期日までに福井県士会事務局にメールで提出してください。

**○集合研修について (zoom)**

開催5日ほど前を目安に、申し込み時に登録されたメールアドレスに当日のzoom情報を所属県社会福祉士会事務局(もしくは所属県基礎研修担当者)よりお送りします。また、集合研修当日の緊急連絡先となる携帯電話の番号も併せてメールでお伝えいたします。なお、案内する携帯電話番号については、その県士会で共有する携帯電話ではなく、基礎研修担当者個人の携帯電話の時もありますので、緊急連絡用途以外の電話は避けてください。

Zoom集合研修への参加は、パソコン+光回線の使用を推奨します。

**○Zoom研修の振替受講について**

- ① やむを得ない場合に限り、北陸三県以外の振替受講受け入れが可能な都道府県社会福祉士会での振替受講を認めることはありますが、北陸三県共催Zoom研修で、大半の研修を受講してください。
- ② 「ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ」研修1の修了評価は、事前課題+当日の事例演習+修了レポートの3つで評価されますので、振替受講が困難です。6月22日は北陸三県共催Zoom研修で受講して下さい。
- ③ 「地域開発・政策系科目Ⅰ」研修1～2(9月14日、2月15日)の科目につきましても、できるだけ北陸三県共催Zoom研修で受講して下さい。
- ④ 振替受講を希望される他都道府県社会福祉士会の研修日は各自で探してください。そしてその研修日の原則2週間前までに所属県の社会福祉士会事務局へ連絡してください。所属県の社会福祉士会事務局から振替受講希望先の都道府県社会福祉士会事務局に受け入れの可否を問い合わせいたします。
- ⑤ 受講する科目に事前課題・中間課題・修了レポートがある場合は、振替受講する都道府県社会福祉士会事務局に取り扱いを確認しますので、その指示に従ってください。

**○事前課題・中間課題・科目修了レポートの取り扱い**

- ① 事前課題・中間課題・科目修了レポートはPDFファイルもしくはWordファイルにて、所属県の社会福祉士会事務局へメールにてご提出ください。  
 ※郵送やFAXは、所属県の社会福祉士会事務局からその科目担当の県社会福祉士会事務局を經由し、採点担当者へ届くまでにかかなりの時間と手間を要するため、受け付けできません。  
 ※提出課題の控えは、演習等の中で画面共有にて使用する場合がありますので、必ず取っておいてください。

**課題提出先**

一般社団法人 福井県社会福祉士会 事務局 あて

■メールアドレス cswfukui@song.ocn.ne.jp

■住所 〒918-8011 福井県福井市月見3丁目2番37号  
NTT 西日本福井南交換所ビル1階

■電話番号 0776-63-6277

**※提出課題は所属県事務局より担当県事務局に送りますので、提出期限を厳守してください。**

- ② 事前課題・中間課題の提出がない場合は、当該 Zoom 研修を受講できません。
- ③ 科目修了レポートがある科目で、提出がない場合は、当該科目の修了評価を行いません。
- ④ 各課題様式は北陸三県社会福祉士会ホームページ（主に科目担当県士会ですが、それぞれの県士会も）に掲載いたします。

## 石川県社会福祉士会の場合

一般社団法人石川県社会福祉士会ホームページ URL : <https://csw-ishikawa.com>

『生涯研修センター』をクリック

CLICK!!

『生涯研修センターからのお知らせ』をクリック

パスワード入力 : kiso

『基礎研修Ⅲ』をクリック

## 福井県社会福祉士会の場合（手順が変更になる場合もあります）

一般社団法人福井県社会福祉士会ホームページ URL : <http://fukui-csw.org>

『事務局からのお知らせ』をクリック

CLICK!!

『2024年度基礎研修Ⅲ課題様式です』をクリック

関連資料の中の様式をクリックしダウンロード

## 富山県社会福祉士会の場合（手順が変更になる場合もあります）

一般社団法人富山県社会福祉士会ホームページ URL : <http://toyama-csw.org>

『会員向け』をクリック

『2024年度基礎研修Ⅲ課題様式〇〇系科目』をクリック

パスワード入力 : kiso3

## ○受講者情報(申込内容)の変更について

受講期間中に住所、氏名、所属、連絡先、メールアドレス等が変更となる場合は、所属県の社会福祉士会事務局あてご連絡ください。

## ○修了要件

- ① 全ての講義【e-ラーニング】を受講していること。
- ② 全ての小テスト、e-ラーニング修了テストを合格していること。
- ③ すべての演習（グループ討議含む）に出席していること。
- ④ 事前課題・中間課題・修了レポートを提出し、合格していること。
- ⑤ やむを得ない事情による遅刻・早退・離席・接続切断は、各コマで10分以内を認める場合がある。
- ⑥ 欠席・遅刻・早退・離席・接続切断により、修了要件を満たせず次年度に期間延長する場合は、科目内で既に受講済みの講義及び演習（グループ討議含む）は再受講を免除する場合があります。修了要件を満たさなかった講義及び演習（グループ討議含む）を再度受講することになる。
- ⑦ その他、各科目で定める修了要件を満たしていること。

## ○修了評価

- ① 基礎研修Ⅲではすべての科目で修了評価を行います。修了評価の基準は以下のとおりとします。
  - ・ e-ラーニング講座の小テスト、科目修了テストを全て80%以上正解し、合格していること。
  - ・ 修了レポートで修了評価の基準の70%以上を満たし、合格していること。
- ② 上記に達しなかった場合については、以下のとおり対応する。
  - ・ e-ラーニング講座の小テスト、科目修了テストが合格しなかった場合は、再受験を可とする。
  - ・ 科目修了レポートが修了評価の基準に達しなかった場合は、一度のみ修正して再提出することを可能とする。
- ③ 科目修了レポートを再提出しても修了評価の基準に達しなかった場合は、当該科目を次年度に期間延長して、その科目の講義及び演習（グループ討議含む）を再受講する。

## ○修了者の認定

- ① 基礎課程修了者の認定及び認定社会福祉士制度の認証科目の修了証の発行は、日本社会福祉士会が行います。
- ② 本研修を修了した方には、所属県の社会福祉士会が「基礎研修Ⅲ修了証」を発送します。

## ○研修期間の延長

基礎研修Ⅰ～Ⅲは、原則、各1年度間の研修プログラムとします。やむを得ない事情や未修了科目により、期間内ですべてのプログラムを終了できない場合は、研修期間延長手続きを取ることで、研修期間の延長を認めます。

「認定機構に認証された基礎研修」の期間延長ルールにより、認定社会福祉士制度上での基礎研修は、基礎研修Ⅰの申込年度を受講開始として6年度以内（例えば2024年度申込だと2029年度末）に修了することが必要です。原則として6年度を超えると認定社会福祉士制度の単位対象とはなりません。生涯研修制度上の基礎研修は、基礎研修Ⅰ受講開始から基礎研修Ⅲ修了までの期間に制限はありません。詳細につきましては、『社会福祉士生涯研修手帳』をご確認ください。

**なお、2024年度基礎研修の会場に集まったの集合研修は、新型コロナウイルス感染症・震災の影響から未だ行えず、代わりにZoom集合研修で行う事になりました。**